

地域振興推進費事業計画・自己評価書 (実績)

提出区分	実績	整理番号	1	課題区分	C	令和6年2月5日	
横断的な課題	地域の特色を活かした山岳観光地域づくりの推進						
地域重点政策	1 農業、林業、製造業などの稼ぐ力を高める				北アルプス地域振興局		
実施機関	北アルプス農業農村支援センター			担当課	所属	技術経営普及課	
事業名	地域在来品種の特産化推進事業				電話	0261-23-6543	
					E-mail	kita-aec@pref.nagano.lg.jp	
事業概要	目的 (目指す姿)	地域資源である豊富な清水を活かした特産物として、軽量で栽培が容易なクレソンや山菜など、地域在来品種の栽培法の多様化により、生産安定が図られ、需要に応じた出荷がされることを目指す。また、調理法の研究・活用により、地元宿泊施設や飲食店での消費の拡大を図る。					
	現状と課題	<ul style="list-style-type: none"> ・R元から小谷村の水田を利用して6aの試験栽培に取り組み、出荷規格の検討や流通について検討を進めてきた。 ・R4からは、水田での試験栽培の他に、ポリエチレン管を活用した簡易栽培法を検証し、使用する培土による生育状況の違いを確認してきた。 ・今後も作業の軽労化を目指して、ポリエチレン管の簡易栽培を継続する。 ・地元での消費拡大に向けて、R4から地元飲食事業者を対象とした調理方法の研修会を開催し、飲食店関係者に地元食材として認知が進むと同時に、地元需要の確認ができた。 ・今後も安全・安心な地元食材として提供できるよう、継続して取り組む必要がある。 					
	内容 (変更後の内容)	地域資源である豊富な清水を活かしたクレソンの特産化を目指す。 ・作業の軽労化を目指して、簡易栽培方法を検証 ポリエチレン管、軽量培土(赤玉土)を活用した簡易栽培法の実施 ・宿泊施設・飲食店の事業者を対象とした「地域食材活用学習会」(9月下旬:おたりつぐら(小谷村))の開催 調理法の提案(専門家(料理人4人)を講師として開催)					
	事業期間	R5.7		～		R6.1	
事業費等	(単位:円)						
	事業を構成する細事業名等	実施内容		計画(実績)額	備考		
	簡易栽培方法の検討	培土等栽培資材の購入		9,717			
	地域食材活用学習会の開催	専門家(全日本司厨士協会北アルプス支部)による地域食材活用法を習得		65,000			
	合計		74,717				
指標及び達成状況	成果指標			目標値	成果	達成状況	
	1株当たりの収穫量			100g以上	118g	● 達成	
	地域食材活用学習会参加者の満足度			80%	100%	○ 一部達成	
	地域食材活用学習会参加事業者数			10人	31人	○ 未達成	
事業実績・成果	1 簡易栽培方法の検討 水路用のポリエチレン管を活用し、水田以外で簡易的な栽培が可能か2年目の試験を行った。8月9日、2mのポリエチレン管に7株定植したところ、12月11日にはポリエチレン管からはみ出すほど良好に生育し、草丈30cm、10.0kg/m ² の収量が得られた。生育が良好であったことから、園主から来年度も試験を継続したいと意見が出された。						
	2 地域食材活用学習会 10月25日に小谷村役場調理室で司厨士協会北アルプス支部と連携し、小谷村と白馬村産の地域食材10品目を用いて、前菜、スープ、ハンバーグ、デザート4品を提案した。食材を提供した生産者、地元宿泊業者を含む計31名が参加し、生産者と実需者が直接交流できる機会となり、これを機会にジャージー牛乳、平飼卵について新たに取引が始まった。12名分のアンケートによる満足度調査によると、参加者全員が良い、又は大変良いと評価し、来年度の継続開催の要望が出された。						
今後の方向性	<ul style="list-style-type: none"> ・栽培方法:引き続き栽培方法を検討し、生産拡大に向けた体制づくりに向けて検討する。 ・販売拡大:地元飲食・宿泊施設での認知向上、需要拡大に向けた学習会を開催する。 						